

研究拠点創成フォーラム5 日米欧国際シンポジウム (教師と研究者の役割) を開催しました



活動日時 2018年3月10日(土) 13:30-17:30

活動従事者 川口広美, 草原和博, 大坂遊 (教育研究推進員)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」では、3月10日(土)に「学習空間」「カリキュラム」「教育の専門家」という3つの研究ユニットの拠点化に向けて、「社会の文化的多様化が進む中での教師と研究者の役割」をテーマに、日米欧の研究者による国際シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは3名の先生方による発表と質疑応答が行われました。ノルウェー・サウスイーストノルウェー大学のTony Burner先生からは「ノルウェーの多様性に関する共同研究と実践」について、アメリカ・ボストン大学のChristopher Martell先生からは「多文化化に対応した社会科授業ができる教師の養成」について、そして筑波大学の菊地かおり

先生からは「教室における“差異”と向き合う教授・学習のあり方」について、それぞれの国の状況を踏まえてご自身の教育研究・実践を紹介して頂きました。

「多文化化に対応する教師教育プログラムでは、“差異”を価値あるもの、教育資源とみなす態度を育成することが求められる(菊地先生)」「外国語の習得では母国語を活用したほうが、その言語の習得に役立つ上に、彼らのアイデンティティの形成にとっても有益である(Burner先生)」「多文化教育におけるアプローチは、“寛容さ”ではなく“公正さ”に注目した教育カリキュラムをデザインすることが重要である(Martell先生)」など、ご自身の研究や実践から得られた多くの重要な示唆をご提供頂きました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI Facebook

